

宮成 昭義



どうなる？
千歳インター

質問

18年度末までに中九州横断道路（犬飼く千歳間）が開通予定であるが、その周辺整備状況は。

答弁 建設部長

県道三重・新殿線および山内・新殿線はともに、千歳インターへの重要なアクセス道路となります。



県道三重新殿線バイパス（千歳町）

山内・新殿線は、さわやか団地の横を経由して国道57号へ接続する計画路線で、15年度より事業に着手している。順調に行けば、18年度末には、三重・新殿線から分岐し、団地への乗り込みが可能となります。

この県道2路線は、中九州横断道路のアクセス道路として重要であり、早期完成に向けて関係機関へ機会あるごとに働きかけを行ってまいります。

質問

自治委員会の組織と今後のありようは。

答弁 総務部長

一行政区の戸数は、7戸から450戸とばらつきがあり、行政区再編は、市の平均である60戸を目安に考えています。

推進方法は、大字単位・地理的条件・文化的つながりを考慮しながら、住民の意思を尊重し、自治委員会連合会・各町自治委員会に推進していきたい。

任期についても1年地区もあるが、2年へ

切り替えるようお願いしていきたいと思います。



深田 征三



市民のための国体へ

質問

馬術競技会場の設営は、市独自の積算を示せ。

答弁 教育長

県馬連の意向を踏まえた県の積算がある。大原グラウンド一体の会場地が、全体的に狭いことから一部県有地の提供も含め、問題点を提起し、協議を進めていきます。

質問

馬術競技会場となると野球、テニス、陸上など、多くの市民が大原グラウンドを利用できなくなる。また、世界に発信したサッカーキャンプ誘致活動をここで中断することが、市民のためになるのか。

答弁 教育長

市民の国体への協力・参加により一体感の醸成と活性化が図られる。

当市を全国に発信するとともに、全国レベルの競技に触れることは、青少年・市民のスポーツ意識を高め、健康で活力のある地域づくりが期待できます。

経営形態を

しっかりと

質問

道の駅みえは、産業全般の活性化をコンセプト（基本的な考え）に指定管理者制度を導入したが、その状況把握は。

答弁 産業経済部長

開店1年を経過し、レジの通過客数26万2000人（131%）、売上額2億1500万円（110.8%）と目標値を超えております。しかし、台風による出荷不足から農林産物2割減、レストラン4割減の状況です。

評価される部分と、反面、野菜が少ない・食事をするとところがないなどの指摘があり、市も積極的に運営協議会での議論を重ね、改善と経営に努めます。



国体目指してガンバります
（三重町乗馬スポーツ少年団）